

<資料>

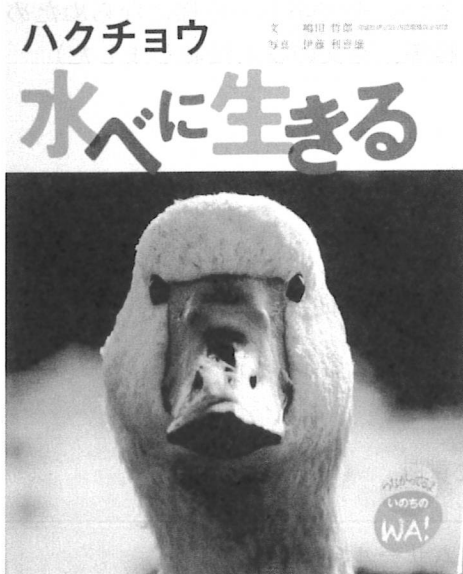
文献紹介

渡辺朝一. 2012. 越後平野・越後平野・新保の大池におけるハクチョウ類の埜からの飛び立ち行動. 新潟県生物教育研究会誌 (47): 35-39,

2008年から2009年にわたる越冬期に、越後平野北部に位置する新保の大池を埜とするハクチョウ類に関し、埜からの飛び立ち行動を観察した。埜からの飛び立ちは、日出から10分ほど経過した後始まり、最後の飛び立ちが終わるまで4時間近く続いた。コハクチョウの飛び立ち群のサイズは、周辺の水田で見られる採餌群のそれよりも小さいものと推察された。

新著紹介

嶋田哲郎 (文)・伊藤利喜雄 (写真), 2012. ハクチョウ 水べに生きる. 小峰書店, 新宿区. (36ページ). ISBN 978-4-338-27002-1



宮城県北部にある伊豆沼・内沼で越冬するオオハクチョウの生活を、写真とともに解説した小学校中学年以上向けの生態写真絵本です。文は嶋田が、写真は30年来伊豆沼で写真を撮り続けているアマチュアカメラマンの伊藤さんが担当しました。

この本では、伊豆沼でのハクチョウの初飛来から北帰までの冬の生態を紹介しています。ハクチョウの大きさは？なぜ伊豆沼に渡ってくるの？何を食べてるの？ハクチョウは寒くないの？などこれまで受けてきた子供たちの質問に答えることを心がけました。また、渡りルート、一日の行動、家族の行動など、経験や知見をもとにハクチョウのさまざまな生態を解説しました。さらにハクチョウをとりまく沼の保全活動も紹介しています。この本を通して、ハクチョウという鳥の面白さ、鳥を調べることの楽しさ、を伝えたいと思っています。

価格が1470円(本体1400円+税)。嶋田に連絡いただけますと著者割りで購入できます。また、送料ですが、3000円以上購入の場合にはかからないそうですので、3冊以上まとめてご購入いただくと割安とのこと。お申し込みは嶋田宛Eメール (tshimada@axel.ocn.ne.jp)にてご住所、お名前、希望冊数をお知らせ下さい。